

有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名「ミクストコミュニティの形成に向けた都市の再構築の手法に関する調査研究—高齢者の居住・移動・交流の支援に着目して—」	
2. 有識者意見の概要および対応 有識者：大月 敏雄 氏 東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 教授 河崎 民子 氏 NPO 法人全国移動サービスネットワーク 副理事長 田中 康裕 氏 合同会社 Ibasho Japan 代表 (所属及び役職は当時のもの)	
意見の概要	意見に対する対応状況
国土交通省はハードの発想が強いため、厚生労働省のソフトの視点も併せた見守りのサポートについて考えていく必要がある。(大月教授)	高齢者の建物賃貸借契約を円滑化する取組の事例調査において、入居後の見守りサービスを行っている4つの取組を調査した。
採算を度外視して、居住支援を行う不動産事業者も存在しており、その事業者が居住支援等の事業に取り組んでいる背景や理由を掘り起こし、そのような事業者を後押ししていくための支援の在り方を考えていくことが重要である。(大月教授)	高齢者の建物賃貸借契約を円滑化する取組の事例調査において、不動産事業者が安価な仲介手数料で取り組む背景や理由について、取組の実施主体にヒアリングを行った。
調査対象事例となる取組の情報がホームページなどで整理され、誰でも見られるようになることで、地域同士のつながりが広がり、支え合いの仕組みづくりにも一層寄与するのではないかと考えている。 (河崎副理事長)	本調査で取り扱った各種取組事例について、取組の背景・契機、具体的な進め方、資金調達方法、実施体制（スキーム図）、成果・課題、及び工夫点等の項目で構成される事例シートを作成し、最終報告書を国土交通政策研究所のホームページに公表した。
移動支援には、移動そのものを補うだけでなく、多くの付随的な効果が期待されている。高齢者にとっては外出や交流の機会がフレイル予防・介護予防に大きく寄与する点も重要であり、移動支援はその大きな後押しになる。(河崎副理事長)	高齢者の移動を支援する取組を調査し、取組内容やその効果だけでなく、外出機会の創出や健康維持への寄与等、取組の付随的な効果についてもヒアリングを行った。
農園などの自然と関わる活動は、雑草取りや水やりといった定期的な作業が求められ、人が担う役割を絶えず生み出すため、役割を持てる場としての居場所づくりと相性が良い。(田中代表)	農作業体験等を通じた多世代交流を支援する取組の事例として、東京都国立市及び東京都小金井市の取組を調査した。居場所づくりを通じて、分野を超えた多世代交流や農地の保全の実態等についてヒアリングを行った。